

◀ 会社紹介 ▶

低硫黄燃料油潤滑性向上剤のご紹介

株式会社タイホーコーザイ東京営業所 所長 村 尾 祐 司



(株)タイホーコーザイ 中央研究所

1. タイホーコーザイとは

「タイホーコーザイ」という名前を聞くと船舶関係の方であまりピンとこない方が多いかもしれません。ただ、現在の社名は2006年にタイホー工業という会社と日本工材という会社が合併して今の社名になりましたと言うと、「嗚呼、タイホーさんね」と親しみを込めておっしゃって下さる方も多いです。

弊社のマリン事業は昭和28年に燃料添加剤・処理剤を扱うことからスタートしており、会社創業時からの基幹事業として長きにわたり海運業界に貢献させていただいております。その後マリン事業から陸上工場の燃料添加剤や洗浄剤を扱う部門を昭和30年代にスタートさせ現在、鉄鋼・製紙・電力・石油化学・電気など日本を代表する3,000工場で弊社製品をご使用して頂いております。

また、工業薬品の技術を活かして一般向け商品であるカーケミカル事業も立ち上げて、「クリンビュー」や「ノータッチ」また「イオンコート」などユニークな機能商品を市場

に提供しております。

近年においては弱電関係にも進出しておりメンテナンス用の洗浄剤をメーカー様との共同開発することのみならず、防水型携帯電話のデバイス供給なども行っております。

2. マリン事業の製品開発

当社は、「化学を通して人々の暮らしを豊かにする」という指針の基、研究開発を重要行動方針に掲げております。

神奈川県藤沢にある研究開発センターを中心に日々技術開発に取り組み、各業界大手の研究開発部門とネットワークを構築し、よりよい製品の開発に取り組んでおります。

マリン事業に関しましてこの度、株式会社商船三井技術研究所様のご協力の下、低硫黄燃料油潤滑性向上剤の上市に至りました。

新製品「ルブアップHS」(低硫黄燃料油潤滑性向上剤)です。

環境対策という観点からIMO(国際海事機関)により制定される低硫黄燃料油使用義務海域は2011年より段階的に拡大する傾向です。

燃料油の低硫黄化は船舶より排出されるSOxの減少には寄与しますが、ディーゼルエンジンの燃料系統ポンプや噴射ノズルの摺動部の摩耗増加が懸念されております。このような状況の中、当社は株式会社商船三井技術研究所様のご協力を得ながら2年前より油性(潤滑性)向上剤の開発を行ってまいりました。

そしてこの度、各種潤滑性試験はもとより、実用燃料油使用温度下を再現できる株式会社商船三井様オリジナルの潤滑性試験でも優れ

た潤滑性を発揮する添加剤の開発に成功いたしました。

ルブアップHSは、低硫黄燃料油に少量添加することで、使用時に発生する摩耗を軽減する油性向上剤であり、各種摩擦試験評価においても非常に優れた摩擦軽減効果を発揮しております。

製品名：ルブアップHS

標準添加量：1:5000～1:10,000

(ルブアップHS：燃料油)

荷姿：18L、200L

日本国内はもとより、シンガポールでのサプライも計画しております。

私どもといたしましては、マリン事業に寄

与する様、現在進行形の研究開発製品の上市も急ぎながらこれからも新たな課題に取り組み海運界の一助になるよう努力いたします。

株式会社タイホーコーザイ

マリン営業部

東京営業所

〒108-0023 東京都港区芝浦4-2-8

住友不動産三田ツインビル東館8F

TEL03(6414)5601 FAX03(6414)5621

神戸営業所

〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2-1-30

三宮国際ビル9F

TEL078(231)1024 FAX078(231)1030

マリン営業部

- 重油添加剤 ●鉍物油洗浄剤
- カーボン除去剤 ●特殊洗浄剤
- 船舶機関用冷却水防錆剤
- 飲料水添加剤
- スケール・スライム除去剤
- 流出油処理関連 ●機器関連

